

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区辰巳1-2-4
施設名	江東区辰巳第二保育園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

生き物

〈テーマの設定理由〉

各々の生き物（動物、植物、野菜など）が成長（生長）するためには何が必要なのか、どのような環境で生きているのか、探求、経験を通してながら発見、興味関心を持てるようにするため。

2 活動スケジュール

2025年5月～2026年3月
①夏野菜を育て、収穫や試食をする。
②身近にいる虫を採取し、どういった環境で過ごしているのか、食べ物は何か観察し、育てる。
③移動水族館を通して、水の中にいる生き物を知り、触れたり、観察したりする。
④自然の中にある食物や生き物に触れたり、観察したりする。
⑤動物園へ行き、どんな生き物がいるのか、どんな生き物なのか、ガイドを通して興味関心を持つ。
⑥移動動物園を通して、様々な動物に触れ、感触や匂いなど、興味関心を持つ。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

虫かご、虫取り網、餌、顕微鏡、画用紙、黒板、シール、図鑑、移動水族館、移動動物園、バス遠足（動物園）

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

『いきもの』はどんなものがあるのかの問いかけから、身近にある虫に焦点を当て、捕まえて観察し、生きている環境を整えたり、図鑑を見て、何を食べているのか探求しながら育てていった。虫だけではなく、人間も生き物であること、生きていくためには食べ物が必要という考えから、夏野菜からはじまり、年間を通して育て、生長を観察し、収穫、調理と経験をすることで、生きていくうえで必要な食べ物を育てる難しさや大変さ、生長を楽しんだ。乳幼児と動物、魚にも関心が高いことから、移動式のを保育園へ呼び、実際に触れたり観察したり、スタッフに質問を投げかけながら興味関心を高めていった。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

- ・虫たちがどんな姿をしているのか様々な報告から観察したり、生きるために必要なことを図鑑で調べ、友だちと話し合い日々観察していた。その中で、餌が見つからず困る姿や、死んでしまったときに保育者に問いかけ、一緒に考えて行く姿が見られた。
- ・野菜を育てる中で、どのように生長しているのか毎日水やりや観察したり、収穫だけではなく調理して食すことで、興味を持ち、苦手なものを食べることや、食べることで大きくなれるなど、生きていくうえで大切なことを知っていった。
- ・移動水族館や移動動物園を通して、触れたときの感触、餌やりなど興味をもったり、知りえたことを友だち同士や保育者、保護者に伝えたりしていた。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

生き物をテーマに身近にいる虫からはじめたが、それぞれに何が必要で、どう生きているのか、児自身で探求する姿が多く見られた。その中で答えを出すのではなく、経験できる場を作ることで、普段の生活の中で周囲に目を向ける機会が増えたと感じた。幼児であれば動物園や水族館に行くことができるが、乳児では難しいことから保育園に来てもらうイベントを開催した。幼児では事前に調べたりし、触れたり観察したりすることができ、貴重な経験を作ることができた。またイベント後に振り返りを行うと、記憶に残っており、より興味を持つことができたため、継続して探求を深めていきたい。